

SWCCグループ

2022年3月期 第1四半期
決算補足説明資料



Creating for the Future

昭和電線ホールディングス（株）
（東証1部：5805）

Aug 2, 2021

<https://www.swcc.co.jp>



2022/3期 第1四半期決算総括

**業績：コロナ禍での緊急事態宣言下ではあったものの、売上高は回復基調
前期1Q比較では大幅な増収・増益となり、利益面はコロナ禍前に回復**

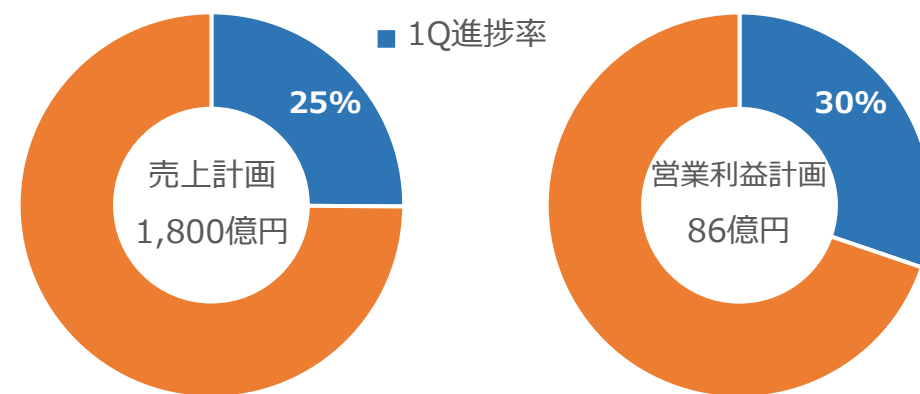
- ・ **エネルギー・インフラ事業**：建設関連向け需要は前期4Qからの減少が見られたが、電力インフラ向け需要は堅調に推移。
- ・ **通信・産業用デバイス事業**：通信インフラ向けは前期4Qに引き続き、5G需要等により堅調に推移し、産業用デバイスも中国を中心に堅調に推移。
- ・ **電装・コンポーネンツ事業**：前期4Qに引き続き、自動車向け高機能製品の需要は好調を維持。

7月21日の発表内容について：

7月21日付けで「当社グループ製品の品質試験に関する不整合の判明と特別調査委員会の設置について」をお知らせしております。

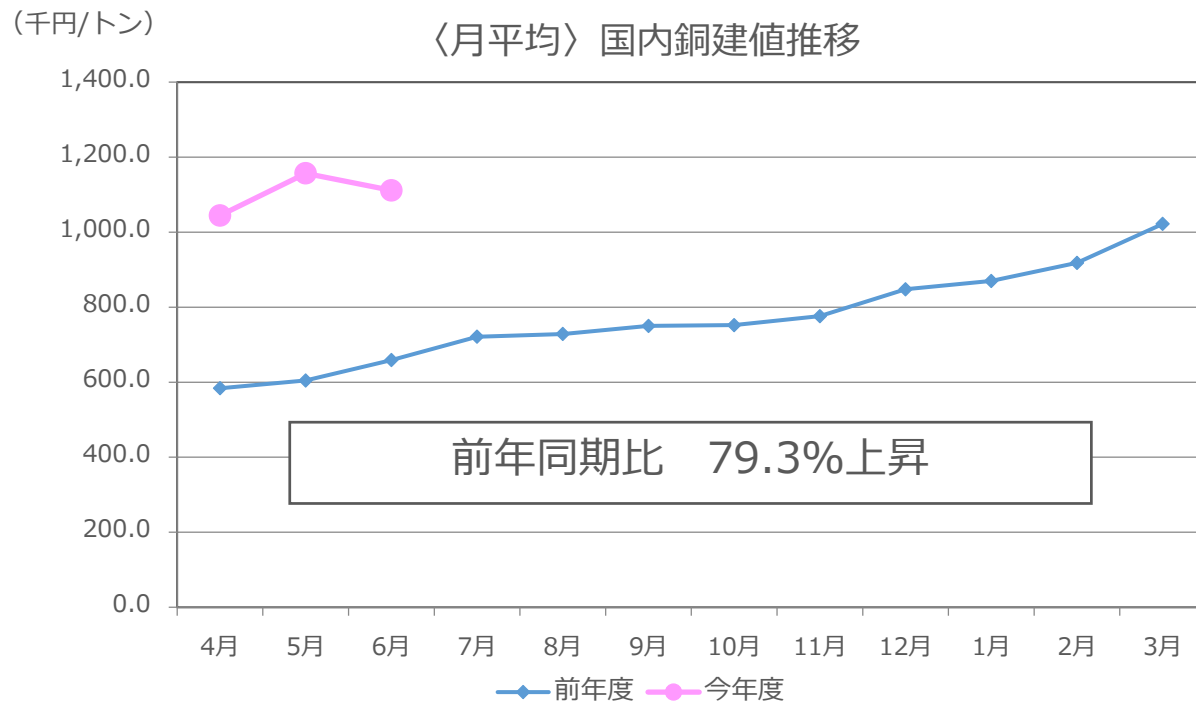
本件による業績への影響につきましては、現時点では不明ですが、業績予想に修正が必要な場合には改めて開示いたします。

1Q進捗率（売上高/営業利益）

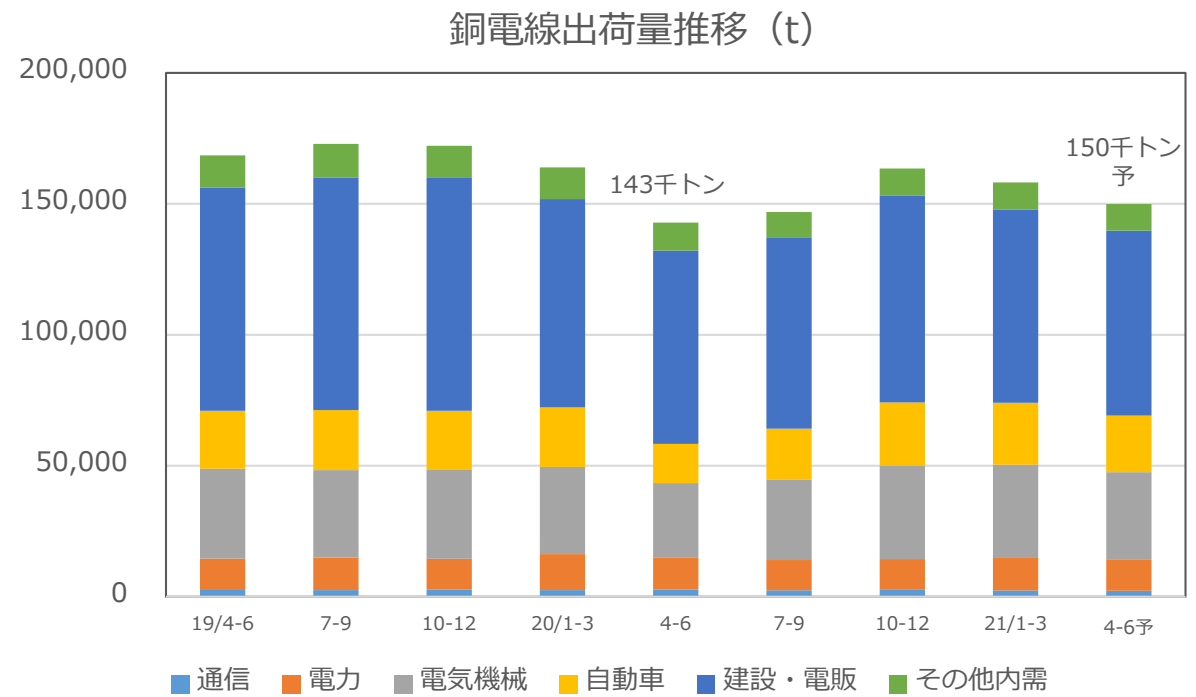


国内銅建値／銅電線出荷量の推移

- 国内銅建値は、中国の景気回復もあり上昇傾向が継続。
- 国内の銅電線出荷量は、建設・電販の回復は弱いものの電気機械・自動車を中心に回復基調。(前年度比5%増)



出所：(社団) 日本電線工業会データより



出所：(社団) 日本電線工業会データより

1Q 連結損益計算書

- ・ 想定どおり業績は堅調に推移し、大幅な増収増益。

(単位：億円)	2019年度 1Q実績	2020年度 1Q実績	2021年度 1Q実績	構成 %	前年同期比 %
売上高	430	338	452	—	33.6%
売上総利益	54	41	61	13.5%	49.2%
営業利益	17	6	26	5.7%	312.4%
経常利益	15	6	26	5.8%	360.3%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	11	4	17	3.8%	329.9%

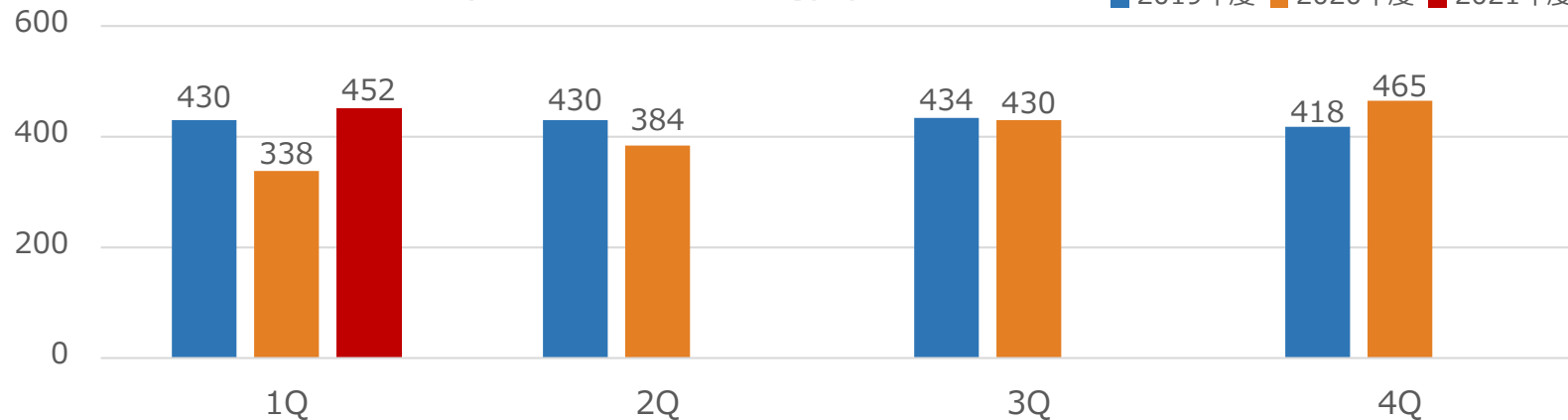
※「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2021年度第1四半期の売上高については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

四半期業績推移（過去3期比較）

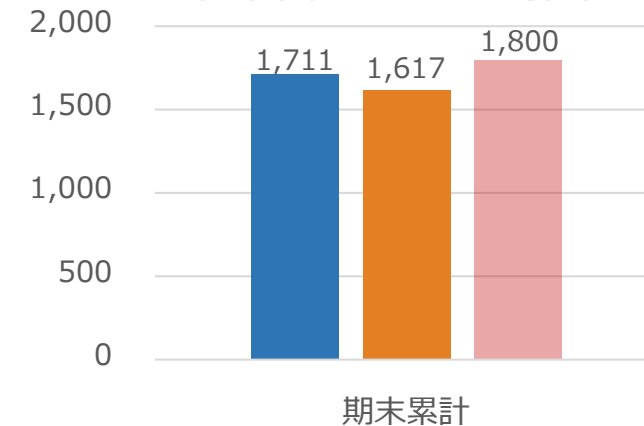
(単位：億円)

四半期毎の売上高推移

■ 2019年度 ■ 2020年度 ■ 2021年度



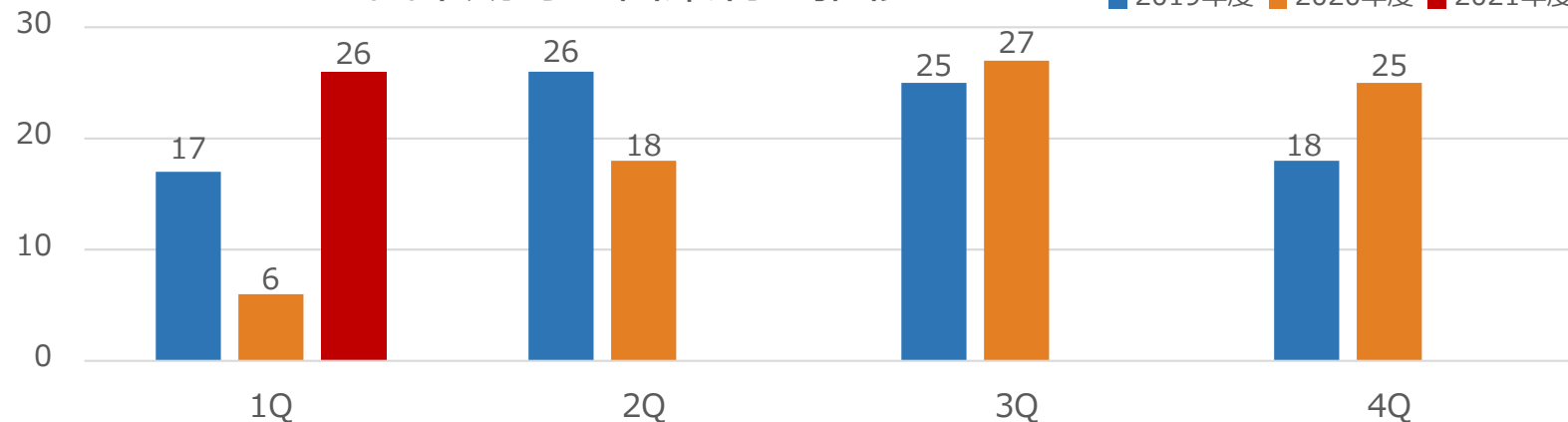
期末累計の売上高推移



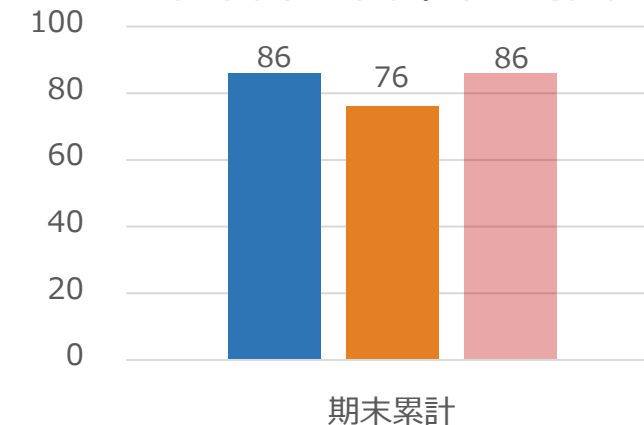
(単位：億円)

四半期毎の営業利益推移

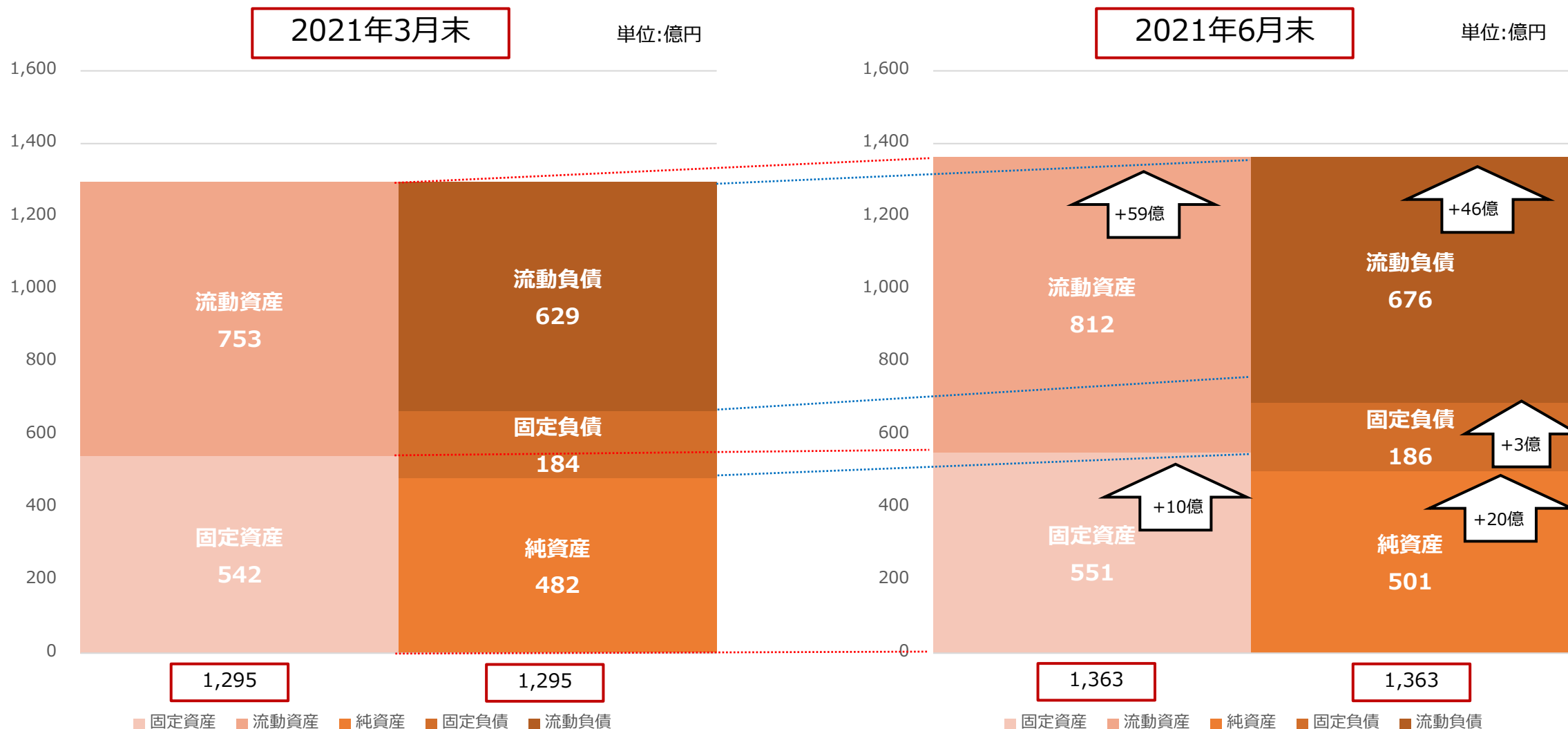
■ 2019年度 ■ 2020年度 ■ 2021年度



期末累計の営業利益推移



連結貸借対照表（前期末比較）



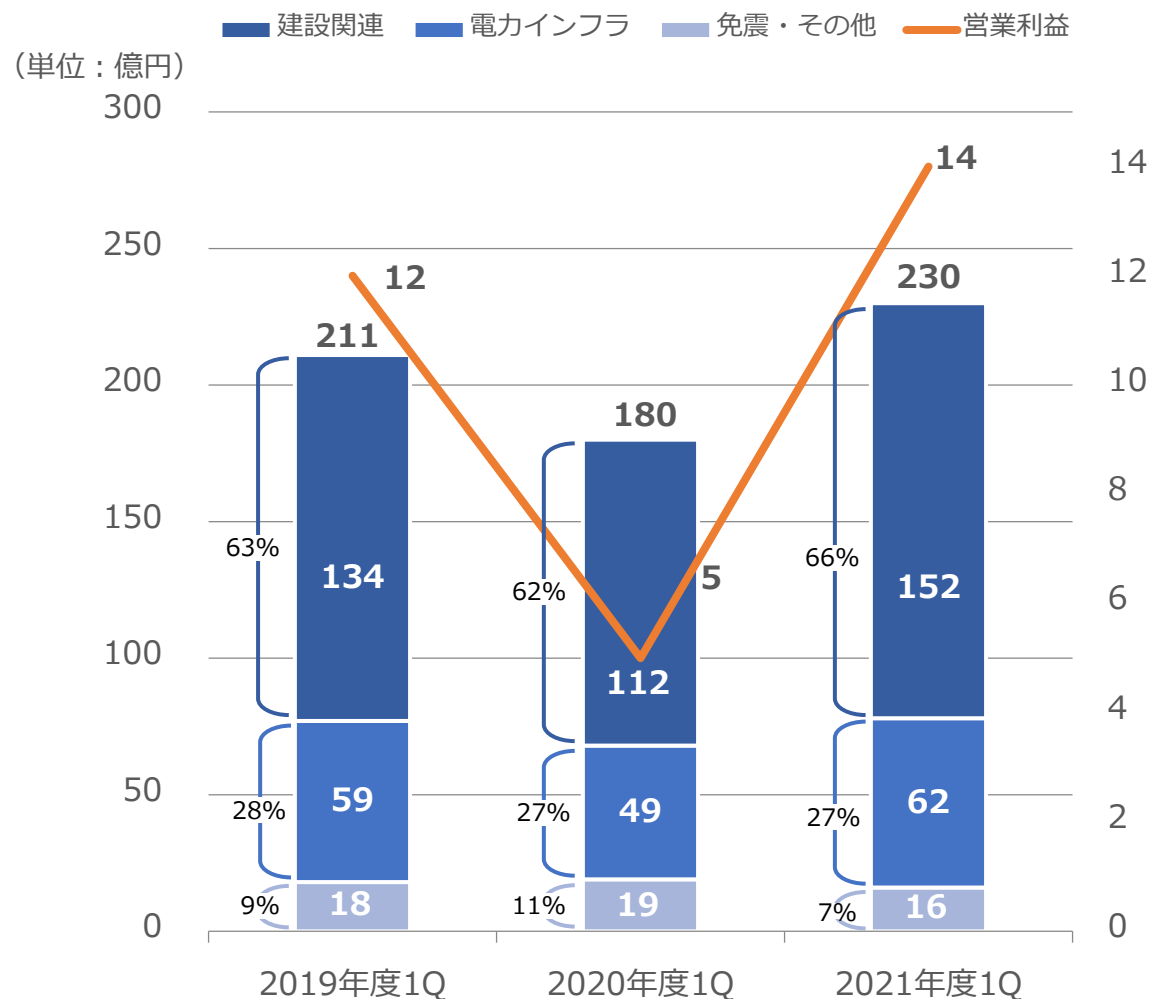
セグメント情報(3カ年推移)

- ・ コロナ禍の影響は限定的。
- ・ 営業利益ではコロナ禍前の2019年度を上回る結果に。

(単位：億円)	2019年度 1Q 実績		2020年度 1Q 実績		2021年度 1Q 実績	
	売上高	営業利益 (利益率%)	売上高	営業利益 (利益率%)	売上高	営業利益 (利益率%)
エネルギー ・ インフラ	211	12 (5.6%)	180	5 (3.1%)	230	14 (6.3%)
通信・産業用 デバイス	76	5 (6.8%)	61	3 (4.4%)	69	5 (7.4%)
電装・ コンポーネンツ	132	1 (0.9%)	87	0 (0.4%)	143	8 (5.4%)
その他 (内新規事業)	11 (7)	△2 (△1)	10 (6)	△2 (△1)	9 (7)	△2 (△0)
合 計	430	17 (3.9%)	338	6 (1.8%)	452	26 (5.7%)

※「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2021年度第1四半期の売上高については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

エネルギー・インフラ事業 1Q業績



実績

◆建設関連 汎用電線	建設関連需要が減少する中で、汎用電線は、大口案件向けの出荷を伸ばした。
◆免震・その他 免震装置、制振・防振	
◆電力インフラ 電力ケーブル、工事、電力機器部品(SICONEX®)	電力強靱化・老朽化更新・再生可能エネルギー連系の需要が堅調に推移した。

トピックス

7月6日プレスリリース	SICOPLUS™「施工人財開発センター」の設立
7月6日プレスリリース	フリーストリッピング外導CVケーブルの納入

※2021年度第1四半期実績のみ新会計基準を適用しております

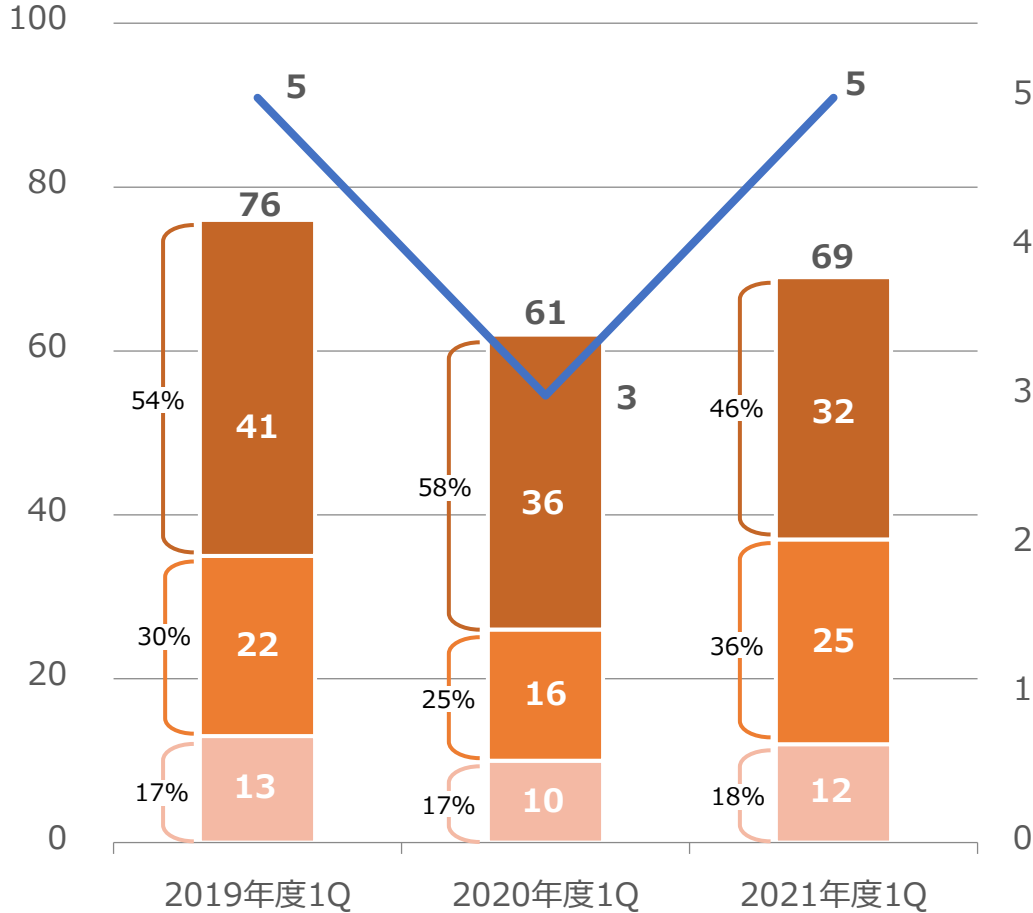
通信・産業用デバイス事業

1Q業績



通信ケーブル ワイヤハーネス 精密デバイス 営業利益

(単位：億円)



実績

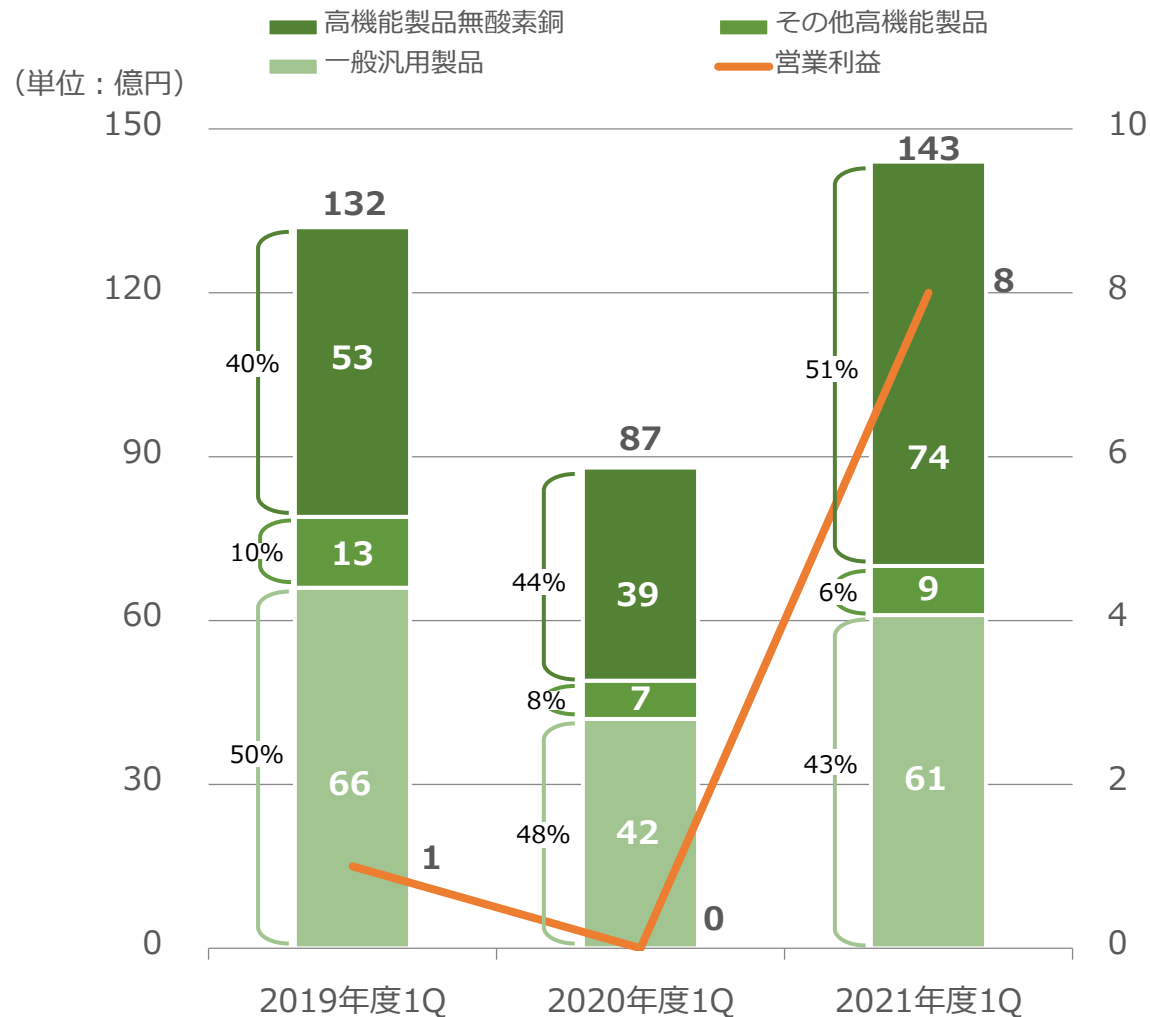
◆通信ケーブル(建設) メタルケーブル、光ケーブル LANケーブル	通信インフラの増強等による好要因があるものの、建設関連向けにおいては需要が減少した。
◆通信ケーブル(通信インフラ) メタルケーブル、光ケーブル	
◆ワイヤハーネス (家電・産業機器 他)	新型コロナウイルス感染症の影響による需要低迷から回復した。
◆精密デバイス (複写機 他)	

トピックス

7月8日プレスリリース	Cat.6A LANケーブル改良品市場投入
-------------	-----------------------

※2021年度第1四半期実績のみ新会計基準を適用しております

電装・コンポーネンツ事業 1Q業績



実績

◆高機能製品無酸素銅(自動車、電子機器 他)
無酸素銅MiDIP®

自動車および電子部品向け
高機能製品の需要が好調
だった。

◆その他高機能製品(自動車、電子機器 他)
銅合金、高機能巻線

◆一般汎用製品(電気機械 他)
汎用巻線

重電向け等の汎用巻線の需
要低迷は継続した。

トピックス

7月20日プレスリリース

カーボンニュートラルな都市ガスの導入

2022/3期：通期業績計画

- 2021年度業績はコロナ禍の影響が継続する懸念がありつつも、環境配慮型製品に関する需要等を取り込み、増収増益の計画。

(単位：億円)	2020年度 実績	構成 %	2021年度 計画	構成 %	増減額	増減率
売上高	1,617	—	1,800 (2,000)	—	+183	+11.3%
売上総利益	218	13.5%	—	—	—	—
営業利益	76	4.7%	86	4.8% (4.3%)	+10	+13.3%
経常利益	78	4.8%	83	4.6%	+5	+6.9%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	50	3.1%	68	3.8%	+18	+36.9%
配当金/配当性向	20円	12%	40円	18%	+20円	—



Creating for the Future

昭和電線ホールディングス（株）
（東証1部：5805）

お問合せ先

昭和電線ホールディングス（株）
経営戦略企画部 戦略課
TEL：044-223-0520
E-mail：kouho@hd.swcc.co.jp

<https://www.swcc.co.jp>



本説明資料に記載されている将来の業績予測値は、公表時点で入手可能な情報に基づいており、潜在的なリスクや不確定要素を含んでおります。

このため、実際の業績は、さまざまな要素により、記載された予測値と大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を与える要素としては、経済情勢、需要動向、原材料価格・為替の変動などが含まれます。なお、業績等に影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。